

## ■新本庁舎建設基本設計業務 提案審査を実施

新本庁舎の基本設計業務の委託業者を決定するため、5月24日に「安曇野市新本庁舎建設基本設計者審査委員会」を穂高会館で開催しました。

委託業者の決定には、市から与えた課題に対して、最適な提案をした会社を委託する、「公募型プロポーザル・コンペ方式」

を採用。当日は第1次審査が行われ、応募のあった代表企業10者、市内企業5者から、それぞれ5者を選定しました。

第2次審査では、1次を通過した代表企業1者と市内企業1者が1つの共同企業体となり、計5つの提案を作成、それを審査します。提案説明とヒアリングは、公開により行います。

### 【第2次審査の実施日】

日時 6月30日（木）  
午後1時30分～5時30分頃

場所 豊科交流学習センター

「きぼう」2階多目的交流ホール  
※傍聴希望される人は、受け付けで住所、氏名をご記入ください。



公開で行われた第1次審査会（5/24）

## ■職員提案制度 表彰式を実施

平成22年度に実施した職員提案の表彰式を5月24日、穂高交流学習センターみらいで行いました。

があり、今回、16件が表彰されました。採用となった提案は、随時実施していきます。

職員提案制度は、職員の創意工夫を生かして、住民サービスの向上と活力ある職場づくりを目指すため、毎年実施しています。昨年度は、113件の応募

があり、今回、16件が表彰されました。採用となった提案は、随時実施していきます。また、本年度からは、職員のアイデア提案でなく、職場全体での改善・改革意欲の向上を図る取り組みへ制度を改善して行く予定です。

表彰式終了後、顧客ニーズを



時折、ユーモアを交えながら講演する講師の魚谷さん

掘りおこし、マーケティングに多くの実績がある魚谷雅彦さん（日本コココーラ株式会社）を講師に講演会が行われ、経営者・社員が一体となった企業の取り組みの中から、集まった120人の職員は新たな提案のヒントを探して、熱心にメモを取るなどして行いました。

※職員提案の実施内容は市ホームページに掲載しています。

## ■レッドデータブック作成委員会を発足

市内に生息する動植物の絶滅危惧種を保護していくための基礎資料を作成する、「安曇野市版レッドデータブック作成委員会」を5月12日、穂高総合支所で開催しました。

これは、平成20年度に策定した「市環境基本計画」と21年度に策定した「市環境行動計画」に基づくもので、作成したレッ

ドデータブックを基に、市内に生息する希少種や地域の生態系を明らかにして、市の政策や民間事業者の開発などに反映することを目的としています。



絶滅危惧種のオオルリシジミ

委員は動植物に詳しい有識者8人からなり、会議の冒頭、宮澤市長から委嘱書の交付を受けました。委員長には、信州大学の吉田利男名誉教授が就任しました。

今後、委員会では、本年度中に動物、植物のそれぞれの部会に分かれ、旧町村誌編さん時の調査報告書などをもとに市域全体での分布状況をまとめ、現地調査を行います。

現地調査は、9月までに北ア

ルプスの常念岳、蝶ヶ岳、明科東川手の岩州公園で、「自然環境調査員」の腕章をつけた調査員が実施するほか、調査地の案内や情報提供などは、市民の皆さんと協力して行います。

調査後、選定した絶滅危惧種や希少種一覧の案について、パブリックコメントなどで広く意見を募集した後、平成25年度にレッドデータブックを刊行する予定です。

## ■豊科東小児童クラブが開所

豊科東小児童クラブの開所式が、5月23日、同校で行われました。

市では各小学校区に1カ所の児童クラブ設置を計画しており、この度、同校の特別支援教室「あずま」増築に伴い、その空き時間を利用して開所しました。これまで豊科東小学校区内には児童クラブがなく、高家児童館内

の児童クラブを豊科南小の子どもたちと一緒に利用していただきました。また、昨年度よりクラブの対象年齢が引き上げられ利用者が増えたため、豊科東小学校区内の開設が望まれていました。

学校施設の活用については、「上川手児童館建設検討会」からの報告や、豊科東小学校の協力により実現したもので、空き

時間には校庭などの施設も使用します。運営には市社会福祉協議会があたり、学校と連携しながら運営します。

開所式では、子どもたちの歌や作文が披露され児童のひとり、米澤利菜（豊科東小3年）さんは、「南小の友達と一緒に遊べなくて寂しいけど、広い校庭でたくさん遊びたい」と話しました。



子どもたちの歌などが披露された開所式